

令和7年度学校自己評価システムシート (県立草加南高等学校)

目指す学校像	困難に挑戦する強い心と豊かな人間性を育み、グローバルな視点をもって社会に貢献する人材を育成する
--------	---

※学校関係者評価実施日とは、最終回の学校評価懇話会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

重点目標	1 主体的・対話的で深い学びの実践、指導と評価の一体化を進め、学習指導の質を高める 2 一人ひとりの生徒理解を基礎とする、自主性を促しつつ、適切かつ組織的な生徒指導をすすめる 3 多様な進路実現に向けきめ細かな指導を継続すると共に、大学入試改革に対応できる進路指導を確立する 4 グローバル人材育成事業及び本校独自のプログラムを通し、地域に開かれた学校づくりを推進する
------	---

達成度	A	ほぼ達成(8割以上)
	B	概ね達成(6割以上)
	C	変化の兆し(4割以上)
	D	不十分(4割未満)

出席者	学校関係者	10名
	生徒	3名
	事務局(教職員)	7名

※ 重点目標は3つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目(年度達成目標を意味する。)は複数設定可。
 ※ 番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

学 校 自 己 評 価					学 校 関 係 者 評 価			
年 度 目 標				年 度 評 価 (2 月 1 日 現 在)		実 施 日		
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度		
							令和8年2月3日	
							学校関係者からの意見・要望・評価等	
1	<p>●主体的・対話的で深い学びや探究的な学びについては定着してきているが、学習の質を高めるための工夫が必要である。</p> <p>○授業力向上を目指し、授業の相互観察や年次研修等の機会をとらえた授業研究を推進する。</p> <p>○DX加速化推進事業指定校として、デジタル技術を活用した外部機関・団体等との協働的な活動を推進し、情報Ⅱや総合的な探究の時間を充実させる。</p> <p>○一人一台端末や学習支援アプリの活用について、より効果的な活用方法の研究を継続する。</p>	<p>① 授業の相互観察や研究授業の実施による指導力向上</p> <p>② エビデンスに基づく探究活動やデジタル技術を活用した観察・実験等の実践</p> <p>③ 校内研修の実施</p>	<p>① 授業の相互観察の機会を設定する。</p> <p>① 研究授業・授業研究会を実施する。</p> <p>② 授業アンケート等の振返りに基づく探究活動</p> <p>② 大学等の外部機関との連携や先進校視察を実施する。</p> <p>② 関係研修会を実施する。</p> <p>③ タブレットや学習支援アプリ等のICTの活用に係る研修を実施する。</p>	<p>① 成績優良者の増加 (R6年度1・2学期平均: 15.2%)</p> <p>① 授業理解度の向上 (R6:90%)</p> <p>② データサイエンスの手法を取り入れた情報Ⅱやエビデンスに基づく探究的な学びの実践</p> <p>② 関係研修会の実施、先進校視察の実績</p> <p>③ 学習支援アプリの活用状況</p>	<p>(1) 成績優良者 (2学期 約16%)</p> <p>・授業はわかりやすく満足している (生徒78.6%/保護者73.4%)</p> <p>・学習習慣が身についた (生徒75.1%/保護者78.6%)</p> <p>(2) 総発表表会(中間・まとめ・スパープレゼン)に外部講師を招聘。</p> <p>(3) ICT(情報通信技術)を活用した学習活動が充実している (生徒83.9%/保護者78.2%)</p>	A	<p>○生徒・保護者ともに「学習指導」の充実を期待している。また、保護者から「進学」や「基礎基本」に係る補習のさらなる充実を求める意見が見られた。</p> <p>○総合的な探究の時間における学びあいやエビデンスに基づく探究活動のさらなる充実に向けて、DX推進事業等の活用を促していく必要がある。</p>	<p>補習については、教職員の負担も踏まえて、オンラインやオンデマンドも有効である。</p> <p>また、大学進学に向けた補習だけではなく、大学進学後の授業や研究についていけるような知識・技能をつけさせてあげてほしい。</p> <p>生成AIを活用するのは当たり前の時代であり、活用後の対応や検証が重要であることも指導してほしい。</p>
2	<p>生徒の生活習慣や規範意識は良好であるが、生徒の抱える課題は多様化している。</p> <p>○生徒の抱える課題について、校内での組織的な対応と関係機関との連携を構築する。</p> <p>○生徒が相談しやすい環境・組織体制を構築する。</p> <p>○社会情勢を勘案しながら、生徒との対話を通じた柔軟的な対応や、学習機会の保障について検討する。</p>	<p>① 関係機関との連携を含めた組織的な対応</p> <p>② 的確で迅速な生徒理解</p> <p>③ 生徒との対話を通じた指導内容の検討</p>	<p>① 校内にて組織的に対応する。</p> <p>① 関係機関と連携する。</p> <p>② アンケートや対話等を通じた生徒理解を推進し、情報共有を図る。</p> <p>② SCを活用するとともに、関係機関と連携する。</p> <p>③ 社会情勢を勘案しつつ、生徒との対話を通じて指導内容や学習機会の保障について検討する。</p>	<p>① 学年・特別支援委員会をはじめとした組織的な連携、外部機関との連携</p> <p>② アンケートや面談等の実施</p> <p>② スクールカウンセラーの活用等、教育相談機能の充実</p> <p>③ 生徒との対話の場の設定</p>	<p>(1) 規律ある生活習慣が身についた (生徒91%/保護者88%)</p> <p>・先生方は親身になって相談に乗ってくれる (生徒87.9%/保護者80%)</p> <p>・相談係会、特別支援委員会を開催しSC等と連携。職員研修会の実施</p> <p>(2) いじめアンケートを各学期に実施</p> <p>(3) 生徒総会等での提案等を踏まえ、生徒と対話を通じて指導内容を検討</p>	A	<p>○生徒が抱える課題は多様化しており、研修会等を実施し、引き続き生徒理解を踏まえ、組織的に対応する必要がある。</p> <p>○生徒との対話を踏まえた、生徒指導規定の見直しによる生徒の主体性の育成や、学校評価アンケートの実施による課題やニーズの把握を継続していく。</p>	<p>教職員のきめ細やかな支援に感謝している。</p> <p>多様な生徒が増える中、SCやSSWなどの関係機関との連携を充実させるとともに、例えば、大学生等との連携の機会も検討するとよい。</p>
3	<p>生徒の進路希望は多様化しており、個に応じた進路を実現させる必要がある。</p> <p>○生徒の多様な進路実現に向けて、効果的な進路指導を研究する。</p> <p>○ICTを活用し、効率的かつ生徒がより高い目標を立てられる進路指導を実践する。</p> <p>○生徒・保護者、職員に対し常に新鮮な進路情報の発信を強化する。</p> <p>○進路との接続を意識した英検受験への意識付けを行う。</p>	<p>① 教員の進路指導力向上</p> <p>② より高い目標設定を促す進路指導の実践</p> <p>③ 進路情報の発信</p> <p>④ 英検受験に向けての指導の充実</p>	<p>① 面談等を通じて生徒の進路希望を把握し、希望に応じた進路情報を収集する。</p> <p>① 多様化する大学入試等に係る校内研修会を実施する。</p> <p>② ロールモデル研究や講演会等を実施する。</p> <p>③ 集会、講演会等を実施して情報を発信する。</p> <p>④ 英検の上位級取得を目指し、指導方法を工夫、改善する。</p>	<p>① 面談等による進路希望実態の把握</p> <p>① 大学訪問等による情報収集</p> <p>① 校内研修会の実施</p> <p>② ロールモデル研究、講演会の実施</p> <p>③ 集会や講演会等の実施</p> <p>④ 英語検定等の受検者数及び合格者数</p>	<p>(1) 進路指導が充実している (生徒91.6%/保護者78.2%)</p> <p>・進学に向けた補習や講習が充実 (生徒88.9%/保護者62.6%)</p> <p>(2) Classiによる学習の取組が1都4県で上位10位に入る。(ベネッセ)</p> <p>(3) 英検の1,2年全員受検(2級5人、準2級プラス13人、準2級69人合格)</p>	A	<p>○保護者は「進路指導」に対する期待は非常に高く、引き続き面談等による進路希望の実態把握やICTを効果的に活用した進路指導を行っている。</p> <p>○複雑化している進路情報を保護者とも共有するため、今年度スタートしたデジタルツールを活用し必要な情報の提供を継続していく。</p>	<p>現在、大学でも理系を重要視する傾向が強いため、先を見通した進路指導や生徒への声掛けが重要となる。</p> <p>コミュニケーションを苦手とする大学生も増えてきているが、高校時代からペアワークやグループワークなど対話的、協働的な取組を積極的に行ってもらいたい。</p>
4	<p>文化祭等の学校行事や国際理解教育推進事業をはじめとした教育活動を通じて、開かれた学校づくりを推進する必要がある。</p> <p>○語学研修や国際理解行事等を通じたグローバルセンスを育成する。</p> <p>○教育活動の成果について、適時適切な情報発信を行う。</p> <p>○外部機関との連携・交流や地域・保護者への学校行事等の公開等、地域に開かれた学校づくりを実践する。</p> <p>○50周年記念事業(式典、記念誌等)を着実に実施する。</p>	<p>① 語学研修の実施、国際理解行事の充実</p> <p>② HPやSNS等を活用した情報発信</p> <p>③ 外部機関との交流や、地域や保護者への学校行事等の公開</p> <p>④ 50周年記念式典の実施及び記念誌の完成</p>	<p>① 語学研修の実施をはじめ、国際理解行事を充実させる。</p> <p>① 留学した生徒や語学研修参加生徒等による成果報告の機会を拡充する。</p> <p>② HPやSNSを活用し、本校の教育活動を、広く地域、中学生・保護者に発信する。</p> <p>③ 外部機関との交流や、地域や保護者に学校行事等を公開する。</p> <p>④ 50周年記念事業実行委員会(同窓会・後援会・PTA)において、情報共有を行い、共通認識のもと事業を実施する。</p>	<p>① 語学研修、国際交流や国際理解行事の充実</p> <p>① 留学した生徒や語学研修参加生徒等による校内外における研修成果の発表及び情報発信</p> <p>② HPやSNSによる情報発信状況</p> <p>③ 部活動、生徒会や有志生徒による外部機関との交流や地域・保護者への学校行事等の公開状況</p> <p>④ 50周年記念式典の実施と記念誌の発行、記念事業の状況</p>	<p>(1) 国際理解教育が充実している (生徒86.9%/保護者76%)</p> <p>・国内語学研修の参加者数(40名)</p> <p>・グローバルリーダー育成プロジェクト応募</p> <p>(2) ホームページやInstagramから学校の様子が伝わる (保護者77.3%) (HPアクセス数2,454,035/インスタフォロワー1550名1/19)</p> <p>(3) 草加市、地元自治体、さいたま市等の外部機関との連携、ボランティア活動の実施</p> <p>(4) 50周年記念事業の実施(11/29)</p>	A	<p>○生徒、保護者ともに「学校行事」に対する満足度は非常に高く、引き続き、生徒会をはじめ各種委員会、部活動等、生徒の主体的に活動する機会の醸成が求められる。</p> <p>○保護者だけではなく、中学生や県民に本校の教育活動の魅力増進のため、HP等の充実が必要である。</p> <p>○校内での国際理解に関する行事のほか、校外での活動にチャレンジする機会を設けることが必要である。</p>	<p>学校の満足度は非常に高く、日頃の教職員の教育活動に敬意を表す。</p> <p>コロナ禍で途切れてしまった、ボランティア活動など世代を超えた活動や新しいことへのチャレンジの機会の充実をしてほしい。</p>